

若者と共に
実生の風倒木を活用し
鞍馬山の多様な森林生態系を守る

鞍馬 明日に向かって
豊嶋 亜紀

鞍馬山保育園OG

鞍馬 明日に向かって 会長

鞍馬寺

山容復興委員会 事務局

プロフィール



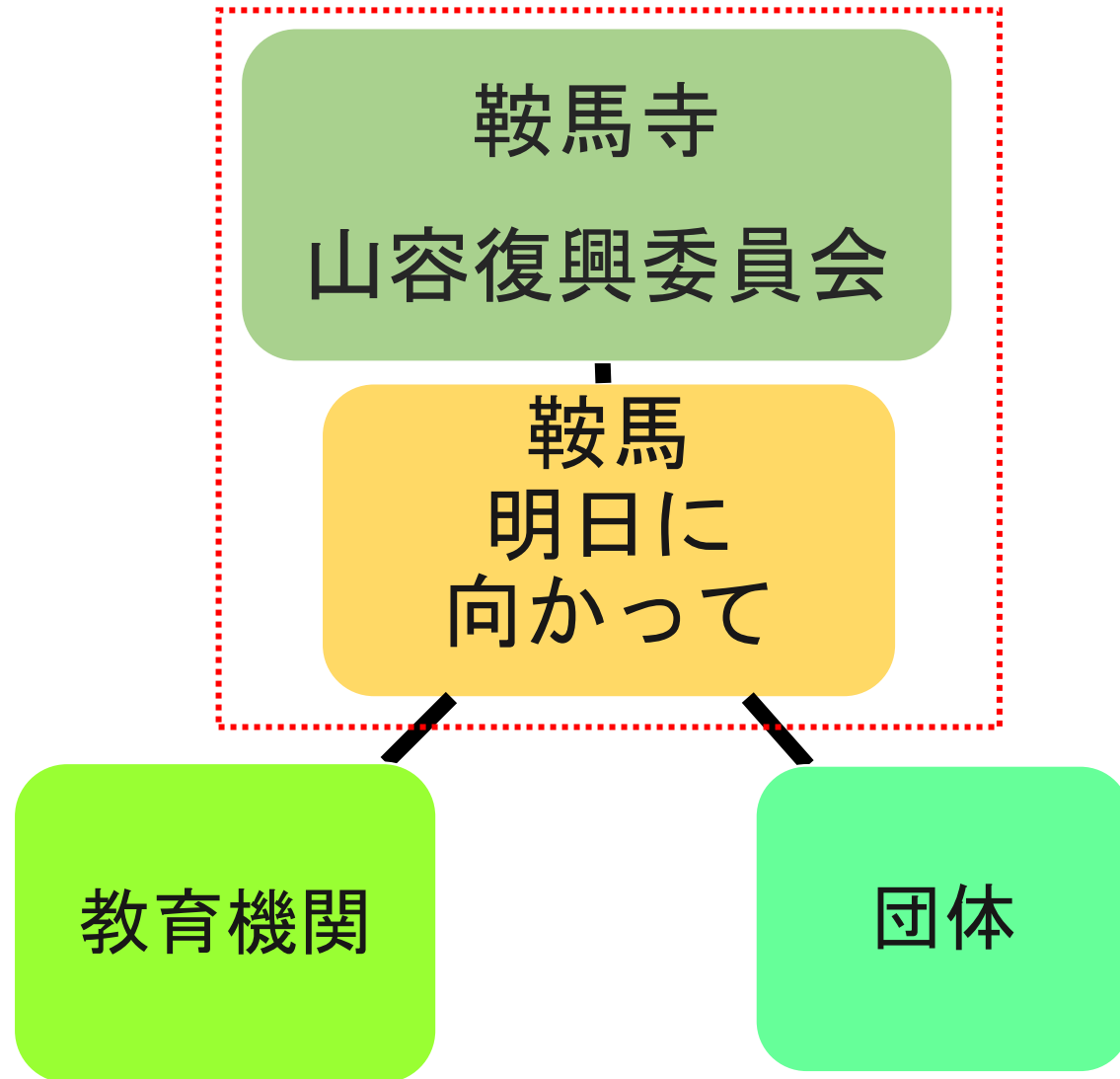
「鞍馬 明日に向かって」

2018年の台風21号をきっかけに発足。

台風により
鞍馬山の自然も 町の景色も
様変わりしました。

ともに生きる人たちと
ふるさとの誇りと未来への希望をもって
鞍馬とお山を中心に活動をしています。

鞍馬山における連携体制



おもな活動



鞍馬山の風倒木の活用

鞍馬山の森林整備



鞍馬山の
台風と風倒木の関係
調査分析

鞍馬学区の
歴史の掘り起こしと
古写真収集による
出版と展示

当時の様子 ①



台風21号と鞍馬学区

2018年9月4日
近畿地方を台風21号が通過。
記録的な暴風でした。

鞍馬学区 (鞍馬・貴船・二ノ瀬)
京都市内の倒木総面積のうち
およそ5分の1にあたる
53haの
倒木がありました。
東京ドーム11個分の広さです。



当時の様子 ②



叡山電車の線路と鞍馬川をまたいで
対岸から木が鞍馬街道に倒れている。

この台風では、暴風が山の斜面に沿って
鞍馬川沿いを蛇行しながら北上していった。
倒木撤去する専用車両が見える。

台風直後の鞍馬学区

4日半にわたるライフラインの停止

4日半にわたって電気、水道がストップ
通信網も大幅にダウン

交通機関の運休

京都バスも一部区間の運休を行う。
広範囲におよぶ倒木のため
叡山電車は52日間運休(市原～鞍馬間)

鞍馬山と風倒木

鞍馬山も
わずか1時間半足らずに
広範囲でおよそ5000本の風倒木



山なりとなった倒木でジャングルのような
九十九折参道



樹齢千年の大杉権現はお倒れに。
拝殿も全壊。



多宝塔前でも倒木が石碑に直撃

風で倒れたお山の木に落胆する住民たち

お山で種からやがて朽ちるまで長い一生を過ごすはずだった美しく芳(かぐわ)しい実生の木たち。
住民はその姿に落胆、涙しました。



保育園の運動場に集められた
行き場のない風倒木

風倒木の課題



本来
門外不出の
お山の実生の木は
希少価値も高い。
だが
風で繊維が
あちこち断裂。
市場には出せない。

風倒木に新たないのちを吹き込む

京都美術工芸大学



みんなで作ったワークショップ



コロナ禍での

地元の学校と叡山電車との連携



京都精華大学

京都府立北稜高等学校

必要なもの その①

いきもの憲章

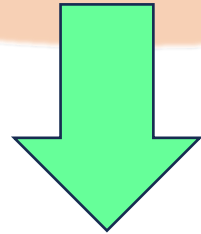
自然やいのちへの
基本理念

お山の
ガイドライン

お山と人を結ぶ
求心力

必要なもの その②

自然との豊かな原体験



環境に対する
感受性

一生涯の
貴重な
財産

必要なもの その③

自然から学ぶ

自然と
ふれあう場づくり

癒し

自分に戻る

いこい

自然に感じる
親しみや必要性

祈りと信仰の対象であった「お山の自然」



新しい自然と人の出逢いの場づくり



 カギを握るのは…

本気で面白がる
行動する大人たち

大人がムキになって
「楽しめる研究に対する姿勢」を
見せること

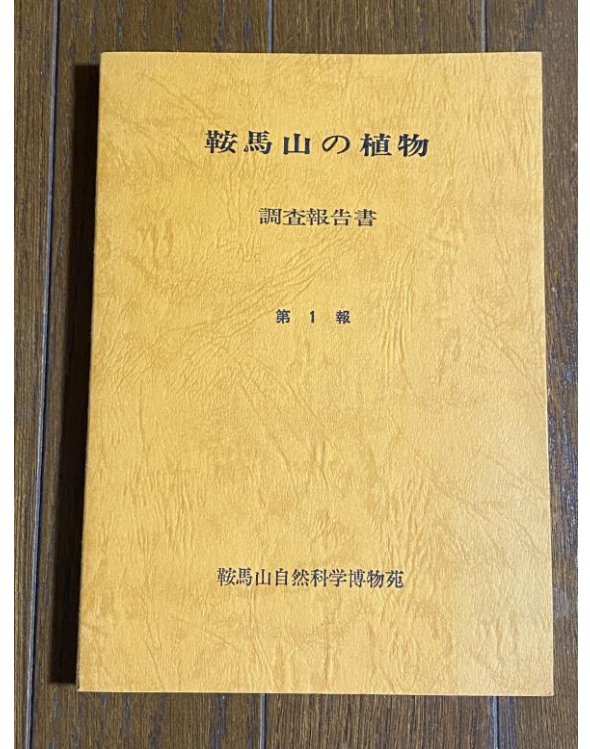
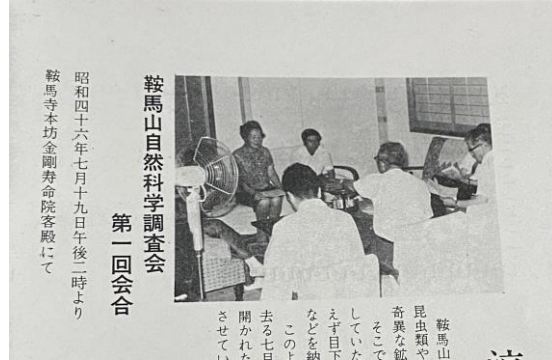
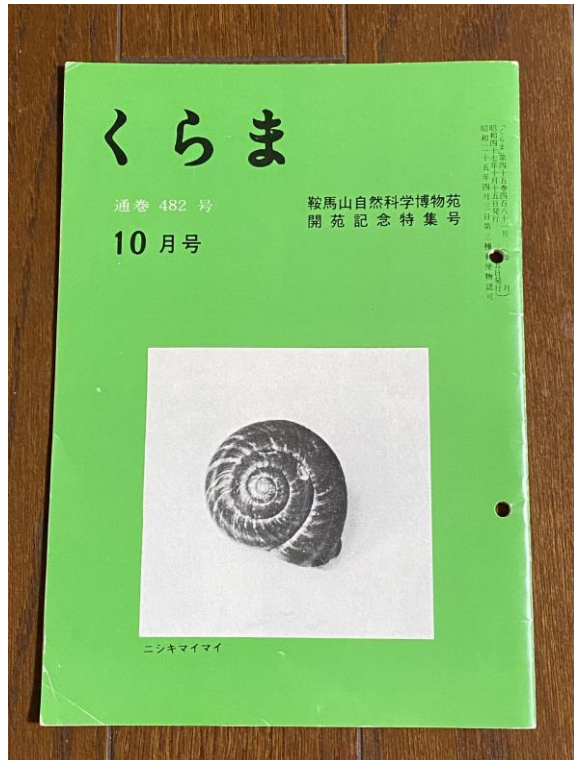
最初はコミュニケーションが苦手な生徒に
発表の場数を踏ませることで、
人前でも堂々と発表できるように
化けさせる指導は大切です。

それが彼らの生涯にわたっての
スキルになります。

京都府北稜高等学校
天文地学部顧問 松原久先生



鞍馬山の自然に大わらわで面白がって下さった先人たち



国連が
「温暖化」は
人間の影響と断言。

「地球は沸騰化の時代」へ

「地獄への門を開けた」

苛酷な「温暖化」

鞍馬で起きている異変

人と鹿の生活動線が
入り乱れる

花が咲くのと
虫の活動にズレ
受粉されず

今こそ生態系に還る時

生態系を離れた先祖たち

厳しかった山里の暮らし

放蕩息子のたとえ話

新約聖書

お山で挑む わたしの生存戦略

遅いことはいけないこと？

大杉権現周辺の今

ブナの生存戦略

最後まで諦めない

「放蕩息子のたとえ話」の
その後…

自然をおびやかす**私たちの可能性**

私が諦められない理由

山容復興

さんようふっこう

いま

鞍馬山が

目指しているもの

山容復興とは



すべてのいのちが輝くお山

本来のいのちに
目覚める場所やきっかけは
ポストのように

不完全ないのちを
仲間と生き切る幸せ

一生お山を面白がり続ける

町のあちこちに新しい生態系を